



キャリアパス委員会 =男女共同参画×若手教育問題

生命科学領域の中で「分子生物学」は比較的新しい分野ですが、その発展は目覚ましく、社会にも非常に貢献しています。一方、分子生物学会に属する若手研究者がおかれる状況は男女共に、今なお、決して満足のものではないことも周知の事実です。第18期（2013年）から新しく始まった「キャリアパス委員会」では、若手研究者を取り巻く数多くの問題を、男女共に提起・分析し、軽減そして解消することを目指します。

2016年の委員会活動

- キャリアパス委員会主催ランチョンセミナー2016
会場：パシフィコ横浜 会議センター 3階301（第3会場）
 - ・「卓越研究員制度の活かし方 —選ぶ側の論理と選ばれる側の論理」（11月30日）
 - ・「これでいいのか大学院教育！」（12月1日）



- 年会の演題投稿者における属性調査
- 年会託児室利用者へのアンケート実施
- BMB2015両学会共同企画ランチョンセミナー関連（学振特別研究員に関する）アンケート実施
- 「大学院教育」に関するアンケート実施
- 「卓越研究員制度」に関するアンケート実施
- 男女共同参画学協会連絡会に参画
- 「女子中高生夏の学校～科学・技術・人との出会い～」企画・実験・実習等参加協力（主催：国立女性教育会館）

第19期委員(2015-16)

- | | | |
|----------------|-------|-------|
| 小林 武彦
(委員長) | 岩崎 涉 | 須藤 裕子 |
| 石井 優 | 大谷 直子 | 中川 真一 |
| 井関 祥子 | 小野 弥子 | 東山 哲也 |
| | 胡桃坂仁志 | 柳田 素子 |

2013年



2014年



学会ホームページでこれまでのランチョンセミナーの全文記録・映像資料やキャリアパス対談などをご覧いただけます。





2015年

